

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 「フォーカス・オン・フォーム」による指導法を理解する。また、学習指導要領の3つの資質・能力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)とともに、評価の在り方及び授業の指導計画について理解し、実際に授業を担当できる能力の基礎を築く。</p> <p>[授業概要] 近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのチーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考查問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。中学校及び高等学校で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 学習指導要領の3つの資質・能力を育むための授業、教科用図書に基づく指導 2. 小学校学習指導要領(外国語活動・外国語科)、小中高を通した英語教育の在り方 3. 言語習得の3要素とフォーカス・オン・フォーム、5つの領域の指導、領域統合型の授業映像視聴 4. 異文化理解、英語でのインタラクション、フォーカス・オン・フォームに基づいた授業映像の視聴、ALTとのチーム・ティーチングに関する授業映像視聴 5. 学習到達目標に基づく授業づくりと評価の在り方、考查問題の作成方法、教材・ICTの活用、生徒の特性・習熟度に応じた授業づくり、模擬授業(1)の準備 6. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第1グループ) 7. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第2グループ) 8. 模擬授業(1)の反省と指導法のワークショップ(授業担当教員による実演) 9. 小テスト、模擬授業(2)の準備 10. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第1グループ) 11. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第2グループ) 12. 模擬授業(2)(全体を1/3に分けた第3グループ) 13. 模擬授業(2)の反省、まとめ</p>			

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本田 隆裕		
<p>[ 成績評価方法 ]  模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 ]  小テストは終了後採点結果を返却します。レポートの採点結果を受け取ることができる日を設定し、授業中に案内します。指導案は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>[ オフィスアワー(質問等の受付方法) ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ メールアドレス ]  詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[ この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) ]</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-2/英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。  成績評価方法:模擬授業、小テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米1-3/日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-2/英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。  成績評価方法:模擬授業、小テスト、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米2-3/日本語及び英語で書かれた文献から読み取った情報に基づき、自分の考えを論理的に組み立てて表現できる。  成績評価方法:レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:英米3-3/対話的な学びを通して、他者と協調・協働して学び合う姿勢を持っている。  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>[ この授業と関連する大学全体の教育目標 ]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢  成績評価方法:模擬授業、学習指導案、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力  成績評価方法:レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力  成績評価方法:小テスト、レポート</p> <p>[ 教科書(ISBN) ]  『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9)</p> <p>[ 参考書(ISBN) ]  中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051695)  高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (4304051784)</p>			